

バッチ博士の軌跡	日本	世界
1886 9/24 誕生	1877 西南戦争 1881 国会開設の詔 自由党（板垣退助）	1796 ジェンナー（英） 天然痘ワクチン開発 1882 コッホ（独） 結核菌を発見 1885 パストール（仏） 狂犬病ワクチン開発
1903 父経営の真鋳工場で働く	1889 大日本帝国憲法公布 1890 北里柴三郎がペーリング（独） と共に血清療法発見・ジフテリアへの抗血清開発、第一回衆議院選挙・第一回帝国議会 1891 森鷗外「舞姫」 1894 日清戦争（～95） 1895 下関講和条約 樋口一葉「たけくらべ」	1895 レントゲン（独）X線を発見・放射線による診断・治療へ、バイエル社アスピリンを開発 1896 第一回オリンピック（アテネ）
1906 バーミンガム大学医学部入学 医師を目指す	1897 志賀潔が赤痢菌発見 尾崎紅葉「金色夜叉」 1902 日英同盟	1910 フロイト（オーストリア）精神分析学の研究を発表 1911 アムンゼン 南極到達成功
1912 ユニバーシティ・カレッジ病院で研究 内科医・外科医の学位取得	1904 日露戦争（～1905） 1905 ポーツマス条約 夏目漱石「吾輩は猫である」	1914 第一次世界大戦勃発（～1919） 1915 芥川龍之介「羅生門」
1913 医学士・外科医学士の学位取得 ユニバーシティ・カレッジ病院救急医療担当医、国立厚生病院勤務	1912 大正天皇即位（大正元年）	1917 ロシア革命
1914 ロンドン ハーレーストリートに診療所開設・病院兼務、公衆衛生学博士の学位取得、腸内バクテリアよりワクチン作成 ユニバーシティ・カレッジ病院で戦傷者治療	1914 第一次世界大戦勃発（～1919） 1915 芥川龍之介「羅生門」	1914 第一次世界大戦勃発（～1919） 1915 アインシュタイン（独）一般相対性理論を発表
1917 7月 癌で余命三ヶ月の告知 術後、研究に復帰⇒回復	1918 米騒動、原内閣発足	1917 ロシア革命
1918 ノッティンガム・プレース研究所開設 腸内毒血症研究	1919 パリ講和会議	1920 国際連合発足
1919 ホメオパシー病院で病理学・腸内細菌から「バッチの7大のソード」（経口ワクチン）を開発	1922 関東大震災	
1920 「ワクチン療法とホメオパシーの関係」 英国ホメオパシー・ジャーナル掲載	1925 普通選挙法成立 1926 昭和天皇即位（昭和元年）	
1922 パーククレセント研究所	1928 フレミング（英） ペニシリン発見	
1924 「癌に関する腸内毒血症」 英国ホメオパシー・ジャーナル掲載	1929 ニューヨーク株式市場 大暴落	
1925 「慢性病一治療に有力な仮説」を ウィーラー博士と共に著	1930 世界大恐慌・ ナチスの増大（独）	
1927 「慢性病に関する問題」 国際ホメオパシー学会で発表	1931 滿州事変	
1928 「疥癬の再発見」を英國ホメオパシー協会で 発表 ウェールズで最初の植物、インパチェンス・ ミムラス・クレマチスを発見。 ホメオパシーの製法でレメディを作る	1932 五・一五事件	
1930 「経口ワクチンの効果的製造法」 メディカル・ワールドに掲載 「新しいレメディとその利用法」 ホメオパシー・ワールドに発表 (5種のレメディ) ロンドンを離れ、植物を探すためウェールズ に向かう、太陽法の完成 「病気と治療に関する基本的考察」 ホメオパシー・ワールドに掲載 (11種のレメディ) クローマーに移る	1933 ヒトラー（独） 首相に就任	
1931 「汝自身を癒せ」出版	1936 二・二六事件	
1932 「12ヒーラーズ」執筆 「汝自身を解放せよ」を執筆 フラワーレメディの広告⇒医師会からの警告	1937 日中戦争勃発	
1933 「12種の重要なレメディ」「12種のレメディ」 ヒールザイセルフに発表 「12ヒーラーズ」 「12ヒーラーズと4ヘルペーズ」発表	1940 日独伊三国軍事同盟	1939 第二次世界大戦
1934 「12ヒーラーズと7ヘルペーズ」発表	1945 ポツダム宣言受諾	1941 太平洋戦争
1936 「12ヒーラーズとその他のレメディ」出版 初の一般講演・フリーメイソン集会での講演 (於：ウォリンフォード) 11/27 逝去		